

20190925

奥多摩日原 鍾乳洞

2019

夏の終わる前にヒンヤリした

鍾乳洞を味わっておこう！

JR 荻窪駅を 10:41 発の普通電車に乗車、三鷹にて青梅特快に乗り換え、青梅駅で同じホームの向かい側で待っている奥多摩行きに再々度の乗り換えにて、奥多摩駅には、12:15 の到着。



青梅市内観光案内地図

バス便

西東京バスの日原鍾乳洞行きは 12:50 発。お腹が空いているので、駅前の土産物屋で蕎麦でも吸りたいのだが、満員でバスの出発時間までに食べ終わりそうもない。何か食べられるものはないかと探すと饅頭があった。バス停近くの小段に座り、いくつか餡入りの饅頭をほおぼる。口内が甘くなったが、すきっ腹よりはまし。そうしているうちにバスが到着。待合の列の最後尾となったが客席数と乗客の数がぴったり合っている。今日は週中平日だからこんなだが、土日は満員状況かも知れない。バスは土日には、一駅手前の東日原までしか行かないことをお伝えしておこう。

バスはようやく通れるような狭い山道を

進む。山側の崖面には、落石を防ぐネットが張り巡らされていて、地震でもあったらヤバそうだ。



山側のがけ面に張られた鉄網

結好なスピードで走りトンネルを抜け、13:01 日原鍾乳洞バス停に到着。

(JR960 円+バス 500 円)

もうすぐ日原鍾乳洞

終点バス停のすぐ先にある日原川に掛けられた橋を渡り、Y字を右手に。右側を流れる日原川の支流である小川が、勢い良く音を立てている。



日原鍾乳洞バス停先から鍾乳洞方向=岩肌部を見る



この橋の先で日原川（にっぽら）の名称が小川に変わる

日原街道を 400m ほど登って行くと右手に休憩所が有る。その先に古びたお手水洗いにしめ縄が張られている。石山神社の表札石が建てられており、階段を登って行くとそれらしいお社が。



手水洗い



石山神社入口



石山神社本殿

社の右手の坂を下りるとすぐに、鍾乳の看板があり、急坂を下れと指示書きがある。



原鍾乳洞入口への表示看板



日原川（小川）の対面に入口

入口手前の案内所で **800** 円の入場料を払い、橋を渡って洞入口へ。

いよいよ鍾乳洞へ



入場券 **800** 円



日原は、日本 **9** 大鍾乳洞の一つ

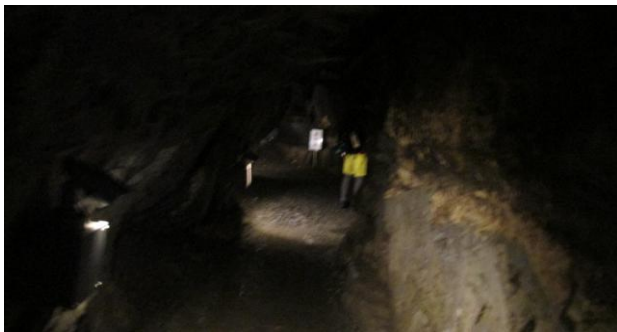


日原鍾乳洞の由来 (**500** 倍に伸ばしてみてください)

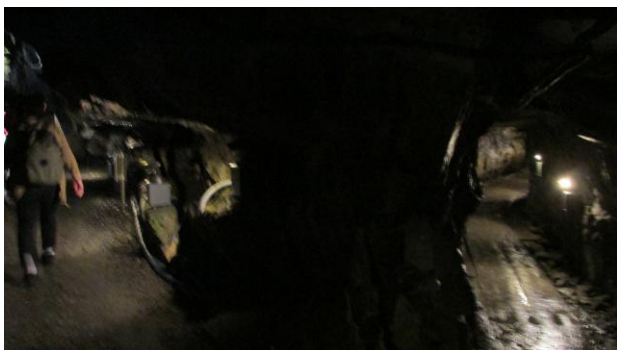


内側から冷気が吹いて来る

洞内はLEDの照明が設けられてはいるのだが、薄暗く天井は低く腰を曲げて歩かないと頭をぶつけそうになる。床面は砂利敷きや、コンクリートで舗装はされているが、じめじめと濡れていてスニーカーでも一寸の不安感がある。



洞内に入ると薄暗い/風はもうない/洞内は **10℃**位



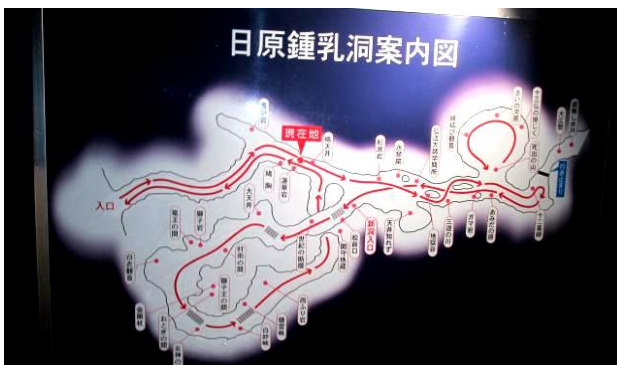
入ってすぐにY字路が



左奥 **30m**ほど先の幾止りに香呂岩=匂いはしない



先ほどのY字路を右側に



ようやく案内図が=左上が入口 (**500** 倍に伸ばしてみてください)



ほぼ中央部の船底岩=確かに船底のよう



水琴窟手前



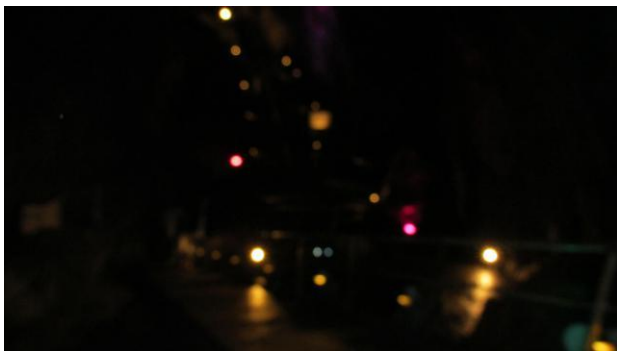
水琴窟=耳を澄ますとピヨーンと小さな音が



由来看板=結露で読めない



弘法大師がここで座禅を組んだらしい



LED 照明がぼんやりと光っている



13 仏の掛け軸題としているが???



これも何だか?



死出の山手前と題しているが



右手に分枝が、左側は死出の山



死出の山の奥＝ドーム状の天井で幅員 30m 位?



右側分枝の先に 12 薬師



縁結びの観音＝広過ぎてストロボの光が届かない



12 薬師先に大広間があるが行き止まりにしている



ここから u ターン / 洞の仕様が書かれている



ところどころに段差解消用の鉄骨階段が



まだまだ下まで



天井知れず？



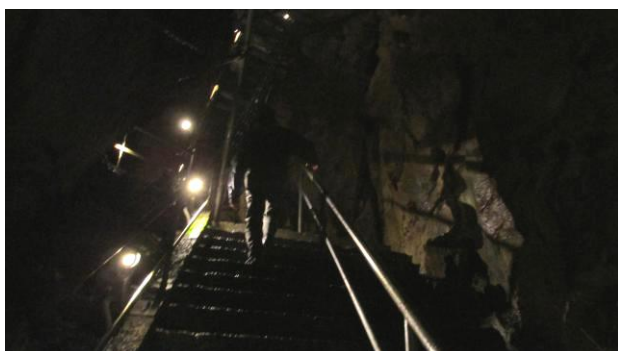
石柱と石筍の違いの説明（500倍に伸ばしてみてください）



先ほどの船底岩まで戻ると左横に新道へのルートが



大天井＝中央部の細い針みたいのが石筍



新道はアップダウンが激しく階段が厳しい



よく見て下さい何本かの石筍が



奈落の底まで降りて行く感じ



天井から垂れ下がっている石筍



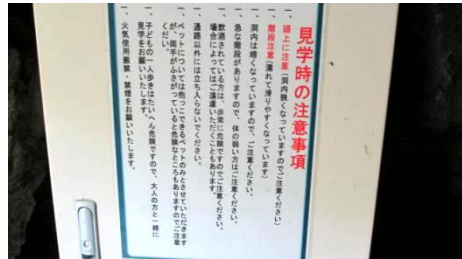
これは、結構太い



雨降り岩？



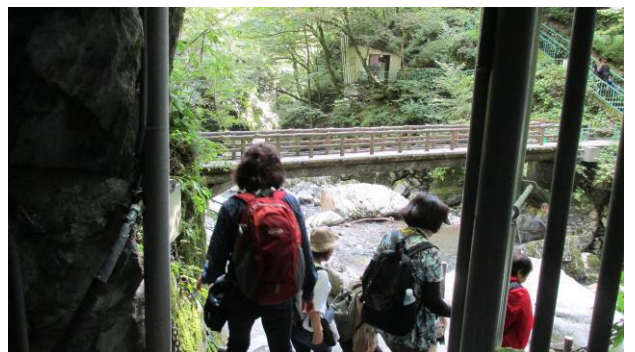
白滝



出口近くに見学時の注意事項？



いろいろな形の石筈



出口から日原川下流を見る

鍾乳洞界限



女神の間へ降りて行く階段



洞内は暗いが外気はこんなに快晴



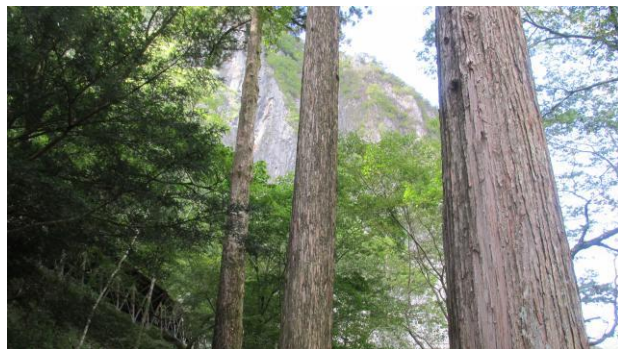
真っ白な石筈＝石灰岩の水滴が **100** 年で 1 cm 伸びる？



川上側の崖＝レンズが温度差で結露している



日原街道洞門と石灰岩の岩山



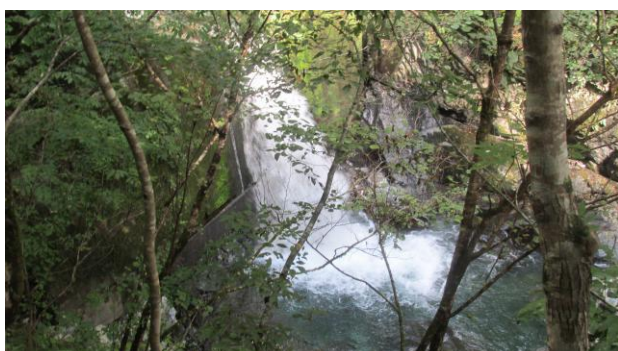
杉木立と岩肌



洞門内部



次のバスは、14:50 発



日原川（小川）の少し川上に滝

帰り道

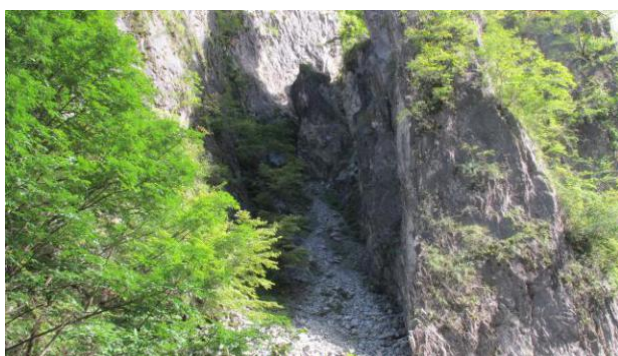
14:50 発のバスまで多少時間があるので休憩所で味噌おでんを頂いた。

バス停まで急いで戻り奥多摩駅へ。駅前の観光案内所で、資料を頂いて改札を抜けホームへ上がると青梅行きの電車が入って来た。青梅駅では、立川行きの電車に乗り換え、さらに立川で東京行きに乗り換えて荻窪着。都内ではあるが、うまく自分の思うような勝手な時間帯に行けるようではない。成行きでの計画は要注意のようだ。

夏向きの毛穴の開放状況から、多少なりとも秋に向けて引き締めるにはもってこいのウォーキングであった。

20190925

JUSTing



対岸の岩肌



日原川（小川）